

第92回 獣医学セミナー

ゾウリムシモデルを用いた 細菌研究の利点と課題

渡邊 健太 先生

(獣医公衆衛生学研究室)

2023年 10月 25日 (水) 16:00-17:00

iCOVER1階 101

様々な環境中に広く存在する原生生物は、現在65000種以上が確認されている。そのうちマラリア原虫のように病原性を持つものはわずか数十種類であり、原生生物の大部分はヒトや動物での感染症とは無縁な存在として扱われて来た。身近な淡水環境中に生息する*Paramecium* spp. (ゾウリムシ) もまた、長く人畜無害な生物として認識されていたが、我々はこれまでにレジオネラ属菌やフランシセラ属菌がゾウリムシを自然宿主として利用し得ること、また、その病原性や感染性の獲得にも関与している可能性を示してきた。本セミナーでは、原生生物と病原細菌の多様な関係性や、ゾウリムシモデルを活用したこれまでの研究の中で明らかにできたこと、逆にまだ解明できていない研究課題などをまとめて紹介する。

★飲み物・お菓子を用意しています！
教員・学生の積極的な参加をお願いします！★
連絡先：三宅（5913）、羽原（5885）

